

野外運動研究班

主 査 布目靖則

研 究 員 高村直成, 村井 剛, 蓬郷尚代

客員研究員 永嶋秀敏, 小山さなえ, 渡邊 仁, 武田作郁, 和田匡史, 福島邦男,
有元崇浩, 東山昌央, 浅見直人

1. 研究概要

課題①：スノースポーツの安全管理・安全教育

目 的：スノースポーツ事故の分析を行い，事故防止に向けた安全教材の開発に取り組む．

課題②：スノースポーツの生理学的評価

目 的：スノースポーツ事故の機序について，疲労およびサーカディアンリズムの観点から調査する．

課題③：スノースポーツの競技力向上および指導者育成

目 的：アスリート育成のための長期的かつ計画的なプランが，現場のコーチにどのように伝達され，運用されているかを指導者育成の観点から明らかにするとともに，そのプランの有効性が指導現場でどのように評価されているのかを調査することで，育成プランそのものの浸透度合い，有効性を明らかにする（国外調査を含む）．

2. 研究活動報告

【課題①】

- ・「スノースポーツ安全手帳」をリニューアルし，《第3版》を完成させた．
- ・「第24回スキー場の安全対策に関する講習会（一般財団法人日本鋼索交通協会主催）」に研究員1名，客員研究員3名が参加し，フィールド講習およびディスカッションのファシリテーターを担った．講習会を通して，全国のスキー場関係者から安全対策に関する情報を得るとともに，本研究班の成果である「スノースポーツ安全講座第2版」を紹介した．
- ・今シーズン，索道およびスノーエスカレーターでの死亡事故が発生したことから，同種事故の予防に向けた安全教材づくりのための資料収集を行った（主に写真撮影）．

【課題②】

高速IC至近のスキー場（新潟県湯沢地区）来場者へのインタビューにとどまり，生理学的データの収集に至らなかった．

【課題③】

本課題に関する国外出張（ニュージーランド，ワナカ，6泊7日，1名）については，諸般の事情により見送りした．

〔口頭発表〕

「ノルウェーのアルペンスキー競技者育成における文化・制度・実践の連関—育成理念とヤンテの掟の検討—」（日本スキー学会第36回大会）